



株式会社インフォメーション・ディベロプメント 2009年3月期 決算説明会



2009年
5月11日



1. 当決算期の連結業績概況
2. 業界動向と同業他社の状況
3. 通期の見通しと将来の方向性について

1. 当期の連結業績概況

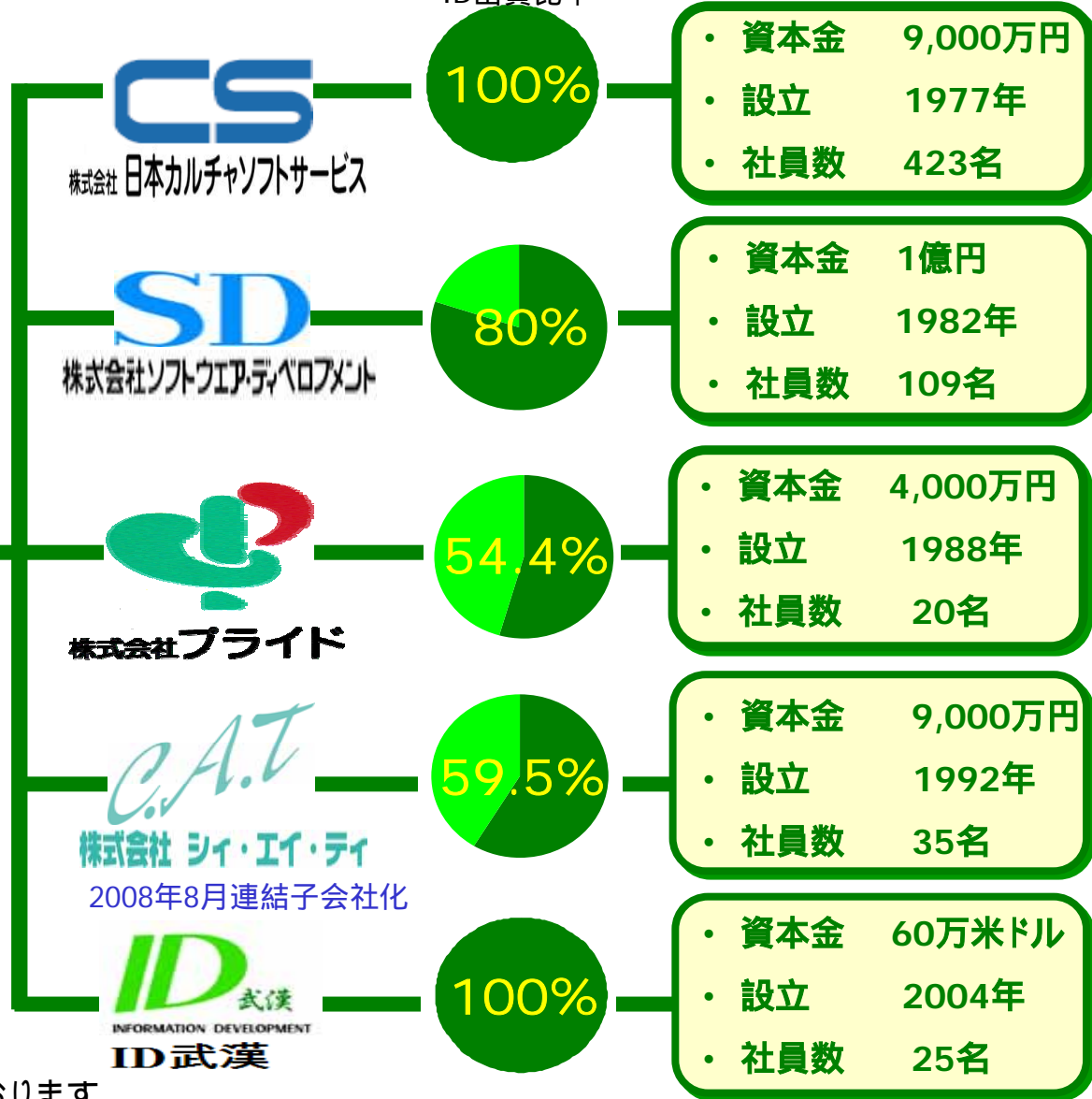
- ◆ 決算ハイライト
- ◆ 損益状況と財政状態
- ◆ 売上高と利益の分析
- ◆ 国内連結子会社について
- ◆ 株式情報



INFORMATION DEVELOPMENT
株式会社 インフォメーション・ディベロップメント

ID出資比率

- ★ **資本金**
5億9,234万円
- ★ **設立**
1969年10月
- ★ **社員数**
1,627名



1 2009年3月末時点
2 出資比率は自己株式を控除しております。

Change or Die!

▶ **売上高** **184.5億円** **(前年同期比 +2.4%)**

▶ **営業利益** **10.5億円** **(前年同期比 12.0%)**

▶ **経常利益** **11.0億円** **(前年同期比 6.9%)**

▶ **当期純利益** **5.6億円** **(前年同期比 5.3%)**

連結損益状況



(百万円)	2008.3	構成比 (%)	2009.3	構成比 (%)	前期比	計画比
売上高	18,032		18,458		+2.4%	△3.1%
売上原価	14,641	81.2	15,018	81.4	+2.6%	△2.8%
売上総利益	3,391	18.8	3,439	18.6	+1.4%	△4.3%
販管費	2,190	12.1	2,382	12.9	+8.7%	+2.5%
営業利益	1,200	6.7	1,057	5.7	△12.0%	△16.7%
経常利益	1,191	6.6	1,109	6.0	△6.9%	△11.5%
当期純利益	594	3.3	563	3.1	△5.3%	△15.9%
1株当たり 当期純利益	79.58円		75.87円		-	-
営業外収益	28		87		+207.7%(前期比)	

単体損益状況

(百万円)	2008.3	構成比 (%)	2009.3	構成比 (%)	前期比	計画比
売上高	13,524		13,994		+3.5%	△1.0%
売上原価	11,007	81.4	11,380	81.3	+3.4%	△1.3%
売上総利益	2,517	18.6	2,614	18.7	+3.9%	+0.5%
販管費	1,636	12.1	1,741	12.4	+6.4%	+3.5%
営業利益	880	6.5	873	6.2	△0.8%	△5.1%
経常利益	921	6.8	986	7.0	+7.0%	+3.0%
当期純利益	524	3.9	563	4.0	+7.5%	+2.3%
1株当たり 当期純利益	70.12円		75.91円		-	-
営業外収益	65		139		+112.6% (前期比)	

(百万円)	2008.3	2009.3	前期末比
流動資産	4,849	5,187	+7.0%
現金及び預金	1,550	1,894	+22.2%
固定資産	4,770	4,867	+2.0%
総資産	9,620	10,055	+4.5%
負債	4,201	4,159	△1.0%
有利子負債	880	903	+2.5%
利益剰余金	4,598	5,020	+9.2%
株主資本	5,305	5,728	+8.0%

営業キャッシュ・フロー

913

投資キャッシュ・フロー

△442

財務キャッシュ・フロー

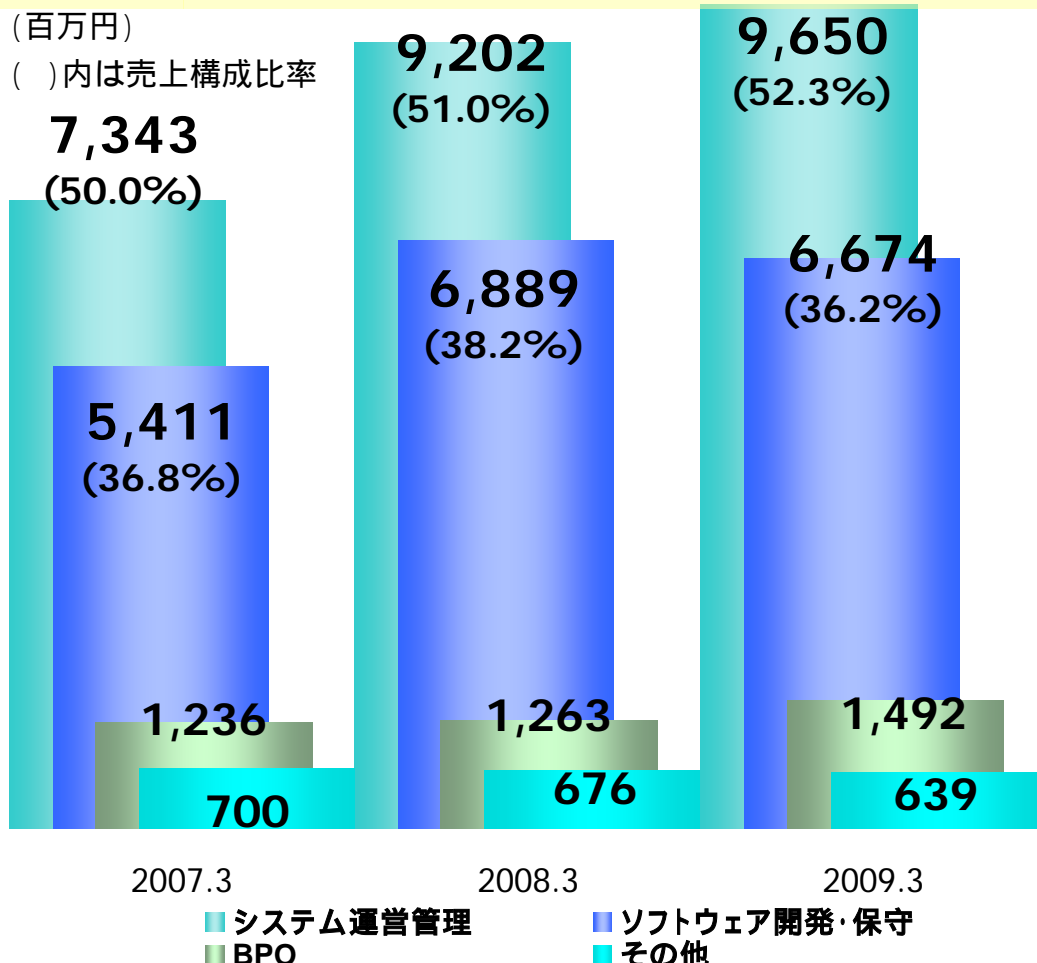
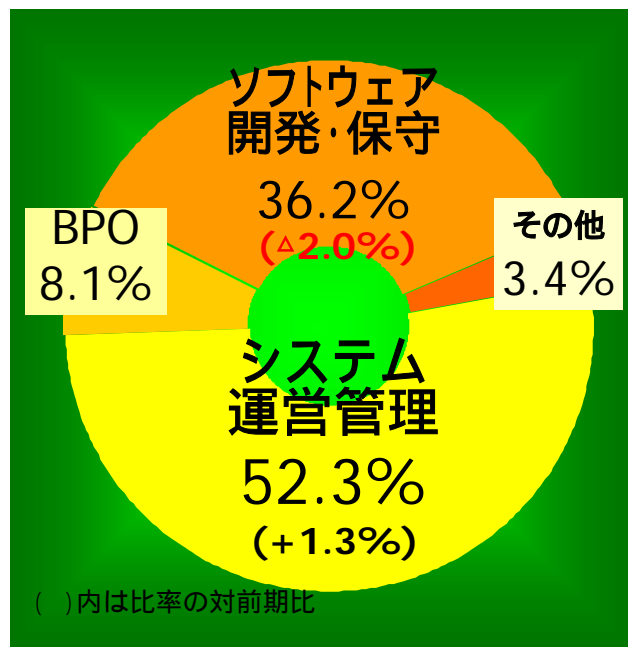
△122

CAT社株式
取得資金
339百万円

売上高分析 (事業別)

前期比	システム 運営管理	ソフトウェア 開発・保守	BPO	その他
	+4.9%	△3.1%	+18.1%	△5.5%

事業別売上高構成

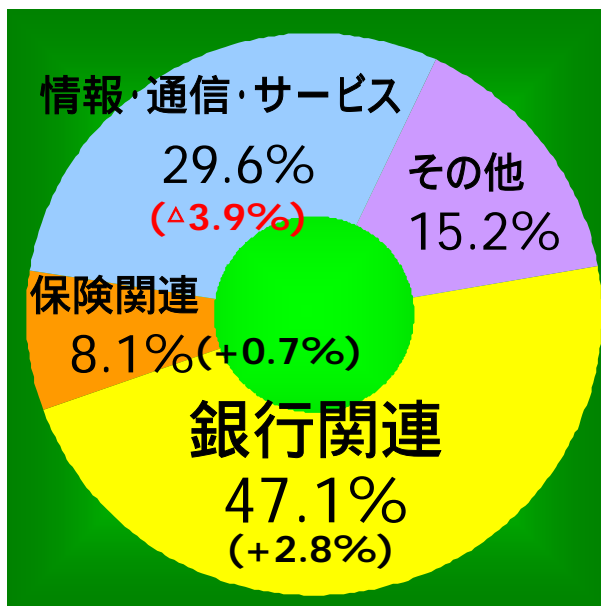


前期比	金融機関	情報・通信・サービス	その他
	+9.5%	△9.7%	+4.9%

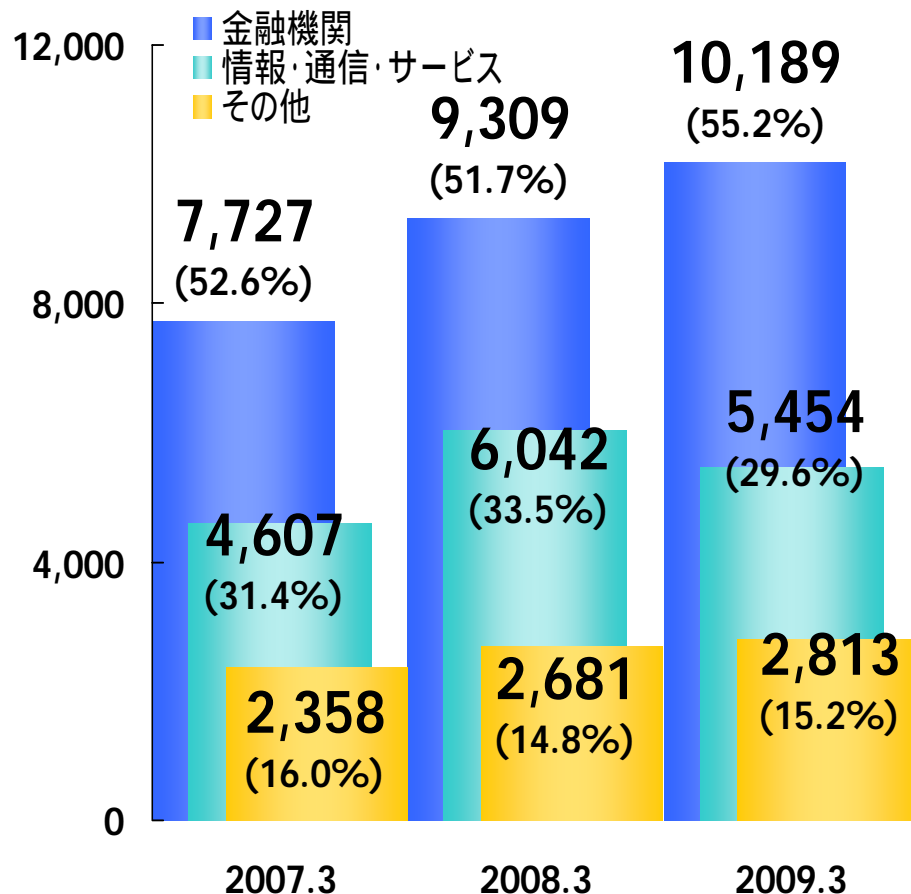
(百万円)

()内は売上構成比率

顧客別売上高構成



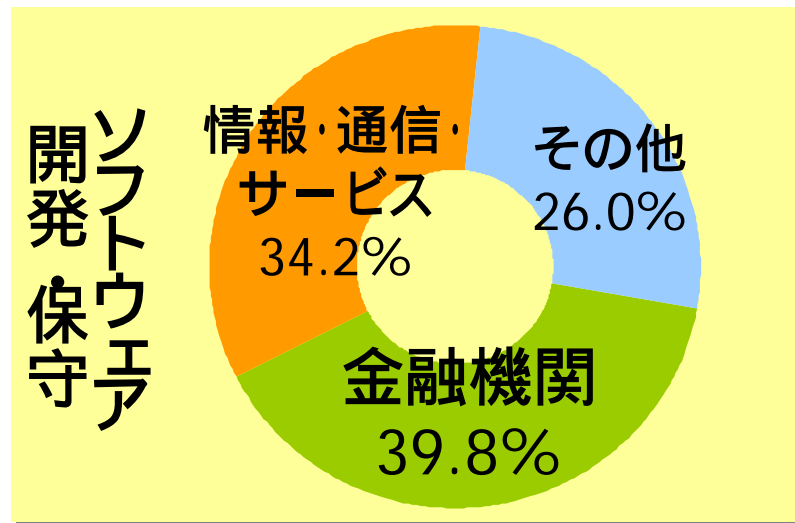
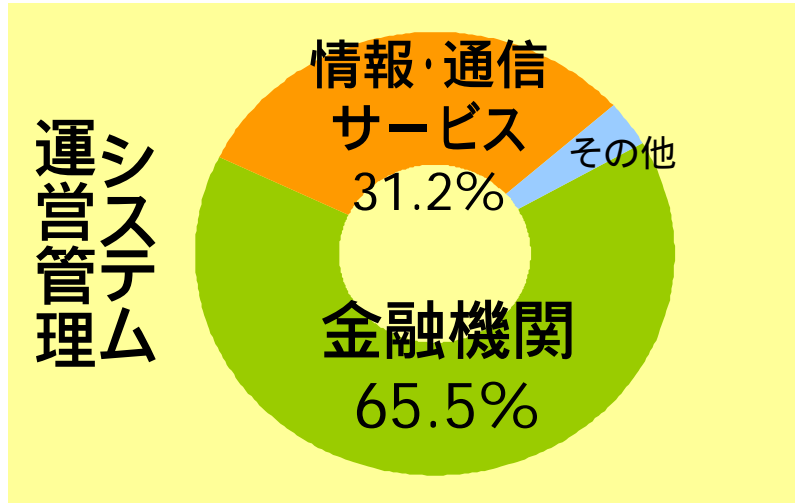
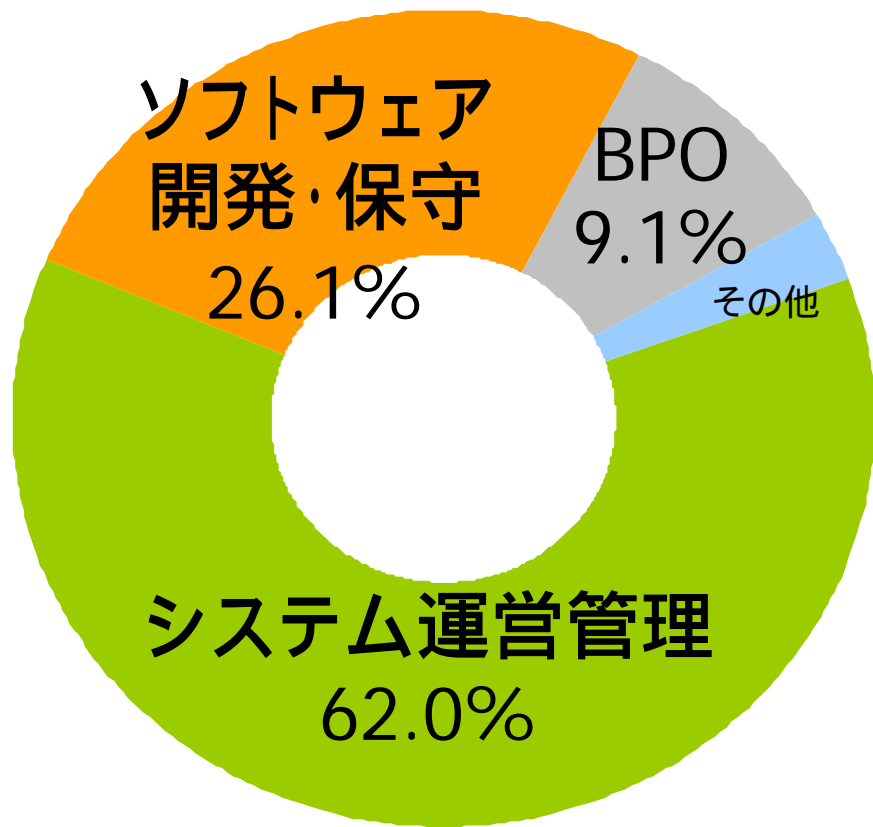
()内は比率の対前期比



Change or Die!

金融機関に強いデータセンターの運営管理サービス

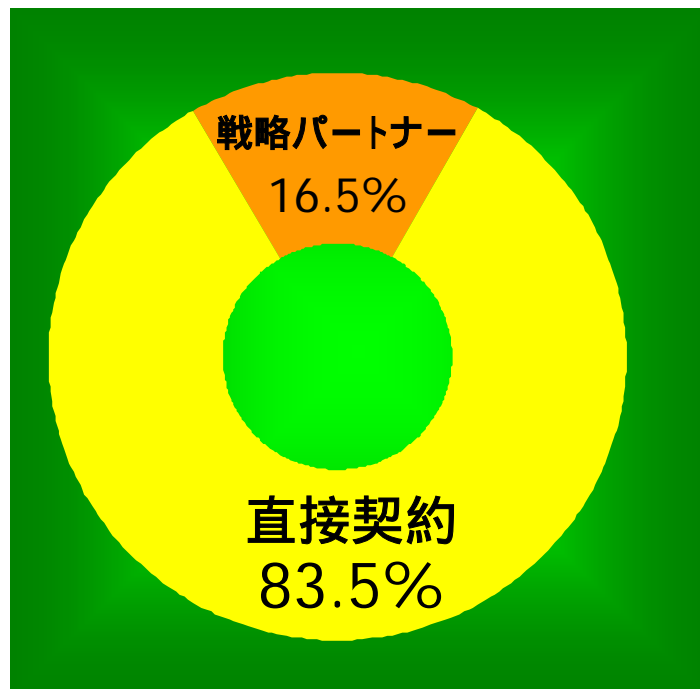
< 金融機関向け売上高 >



Change or Die!

直接契約は8割以上

契約形態別売上高構成



< 当社の主要顧客 >

直接契約

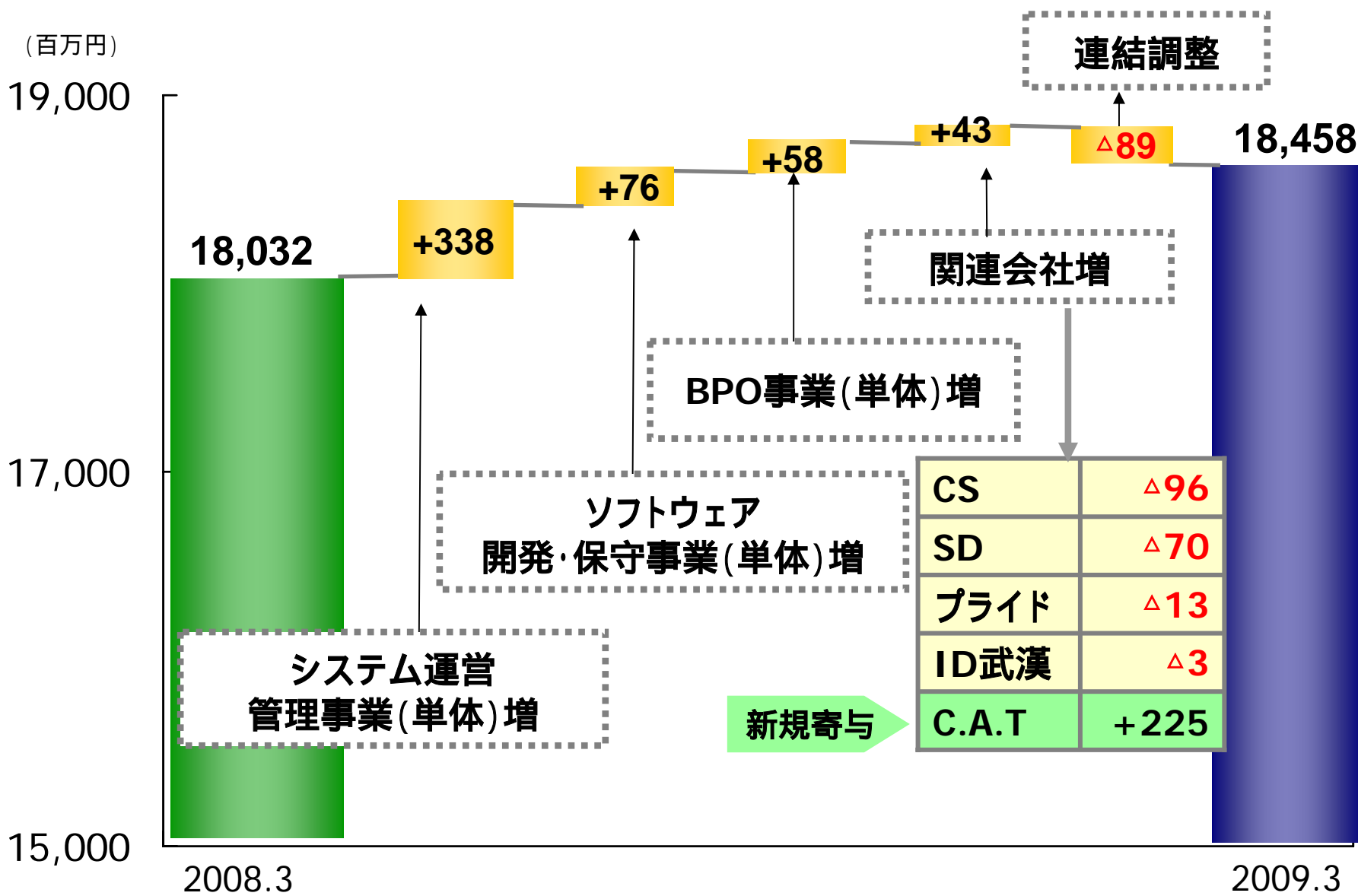
- ・金融機関
 - ・情報・通信・サービス
 - ・その他
- (製造・輸送・公共団体・エネルギー等)

戦略パートナー

- ・大手ベンダー

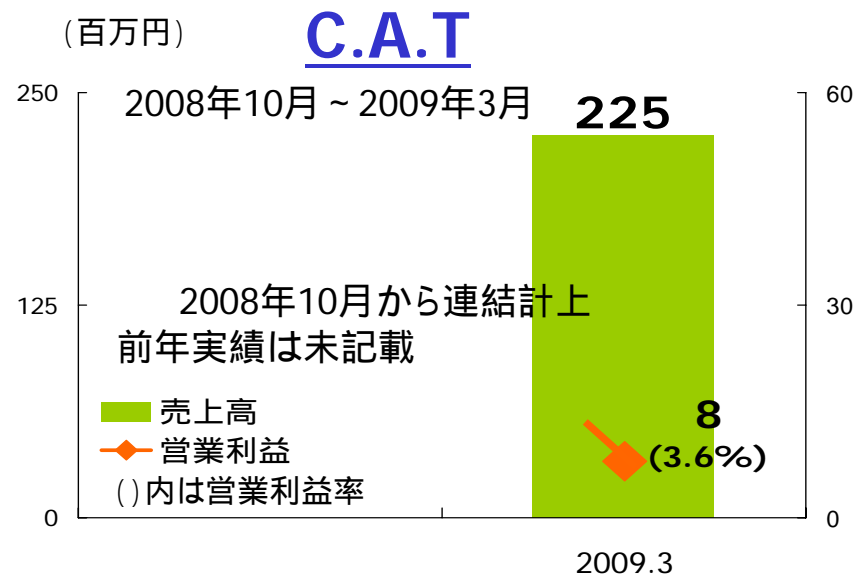
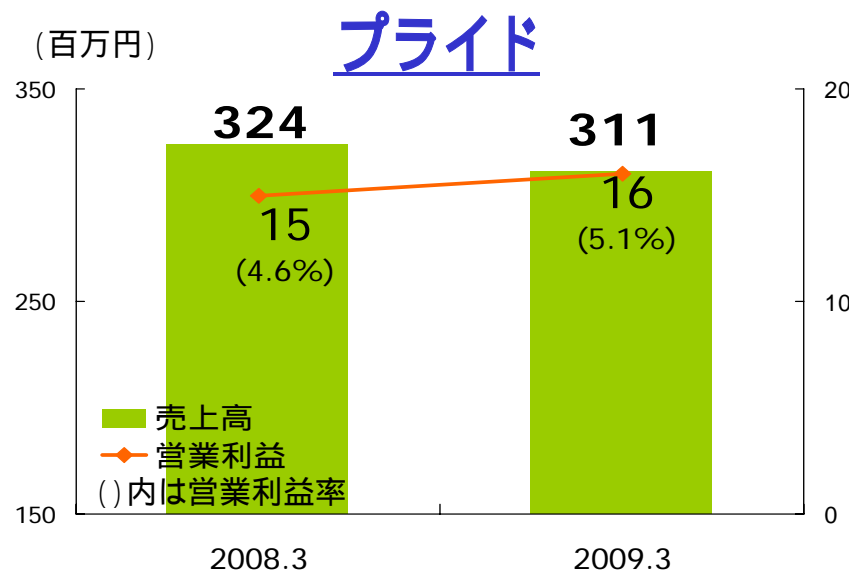
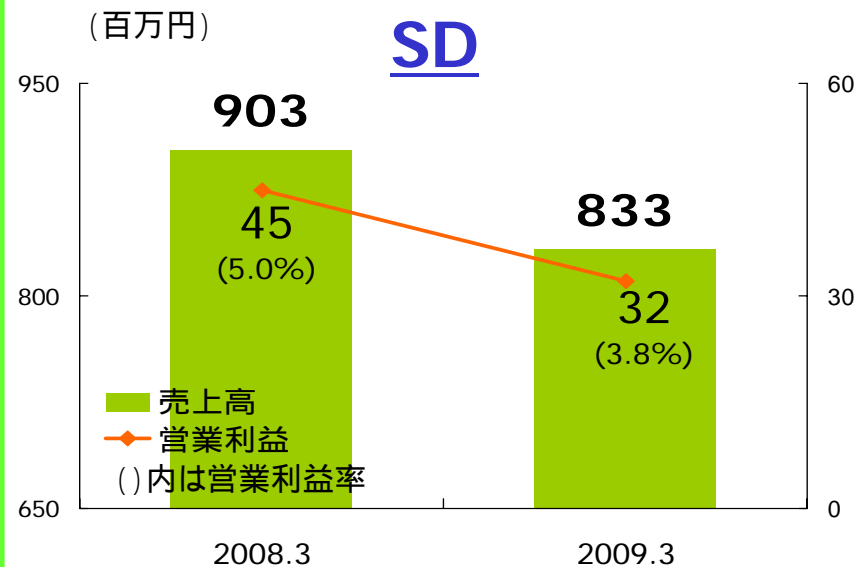
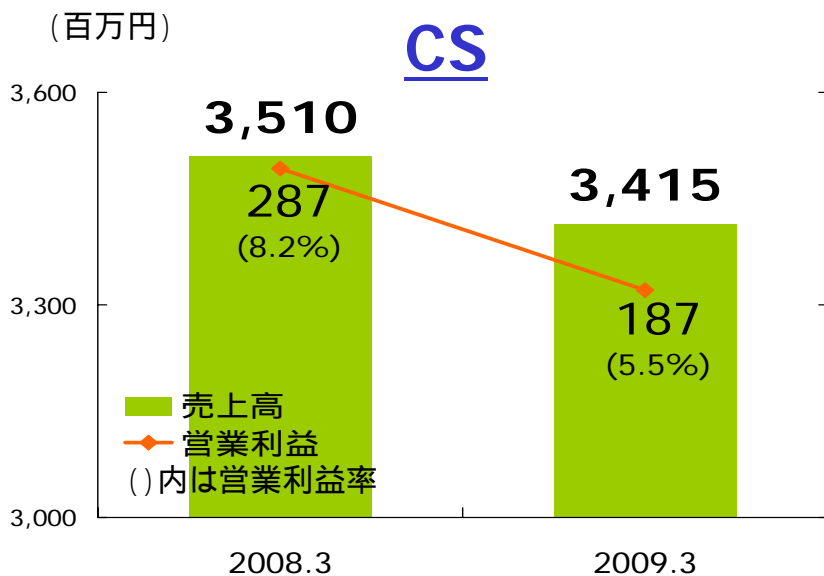
連結売上高の対前期比増収要因

Change or Die!



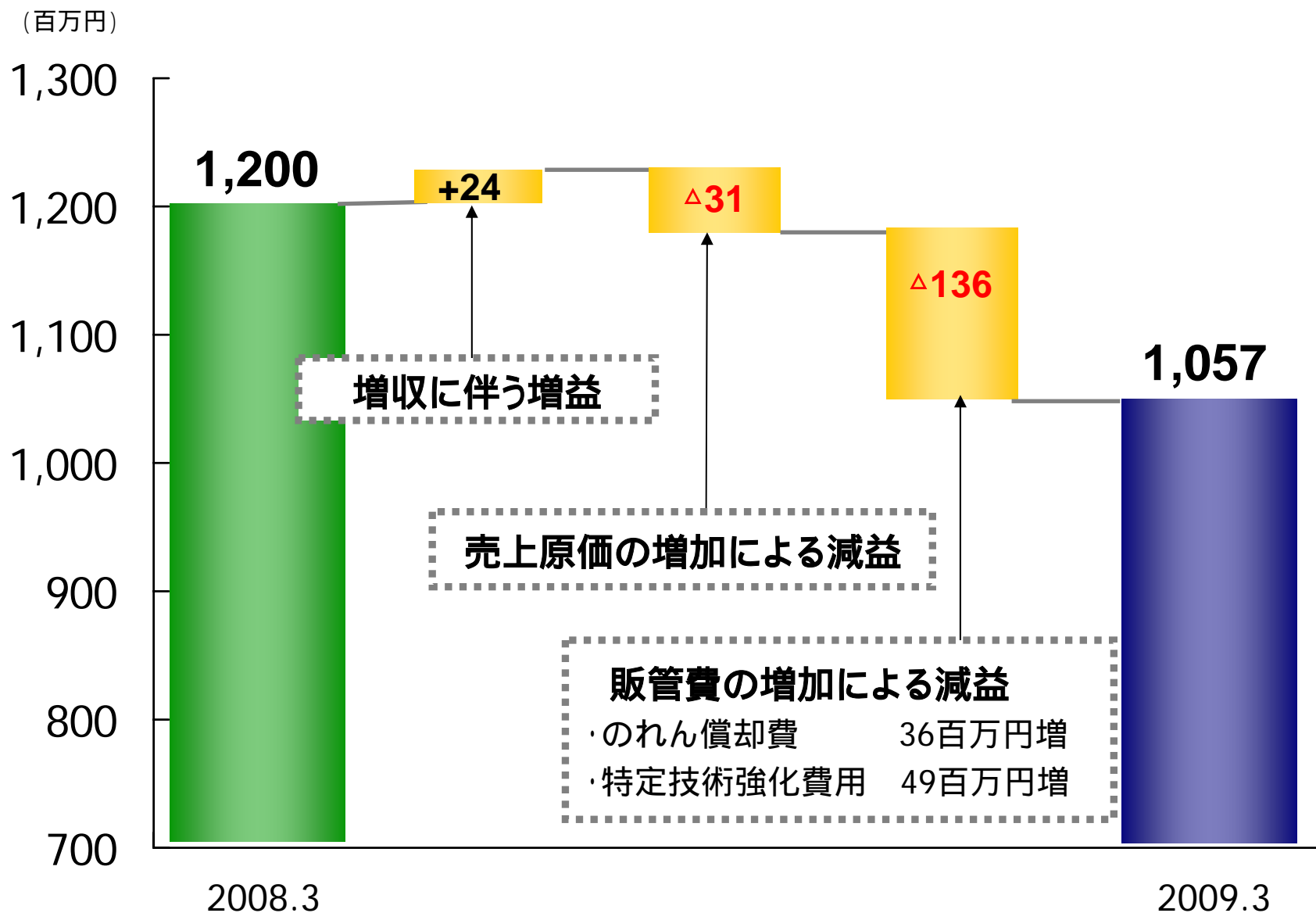
国内連結子会社について

Change or Die!

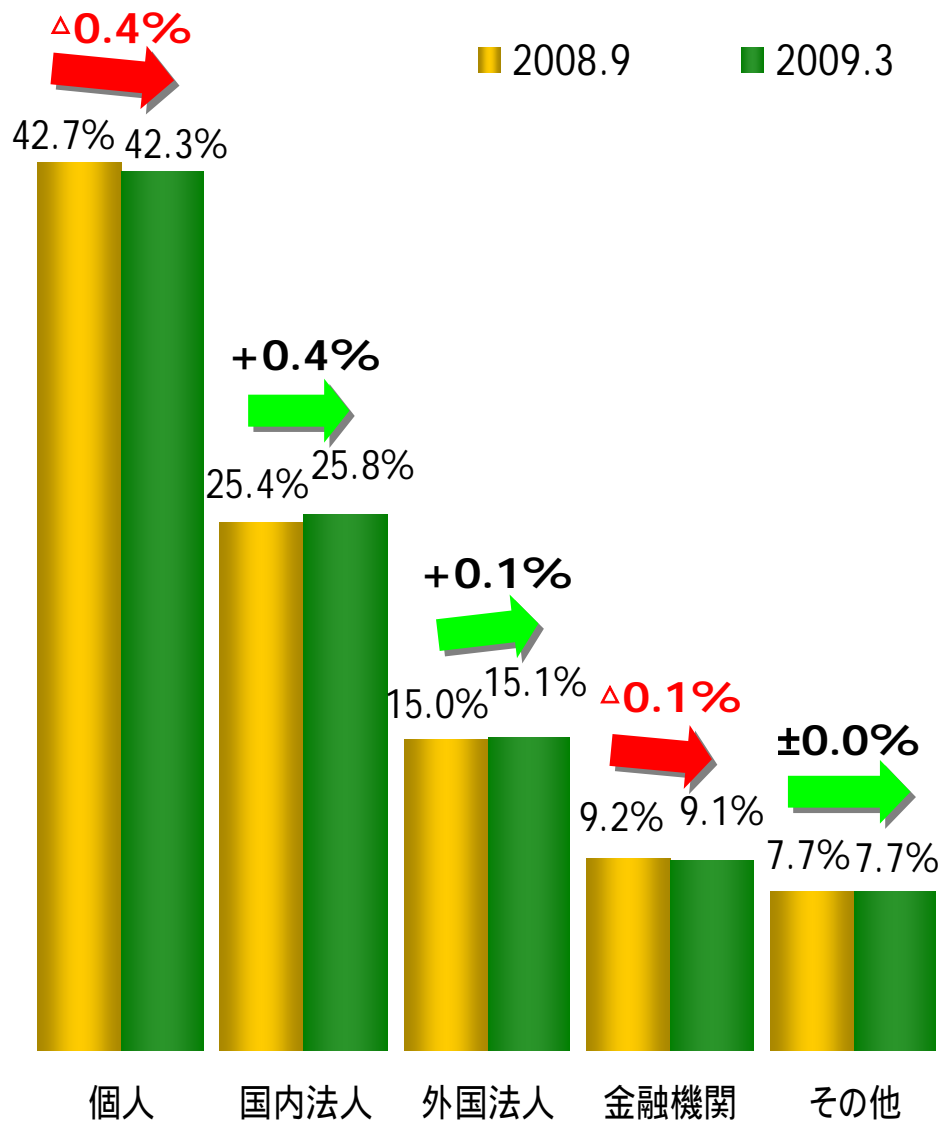


連結営業利益の対前期比増減要因

Change or Die!



株主構成の推移



大株主 (TOP10)

株主数1,975名 (2008年9月末比 ±0名)

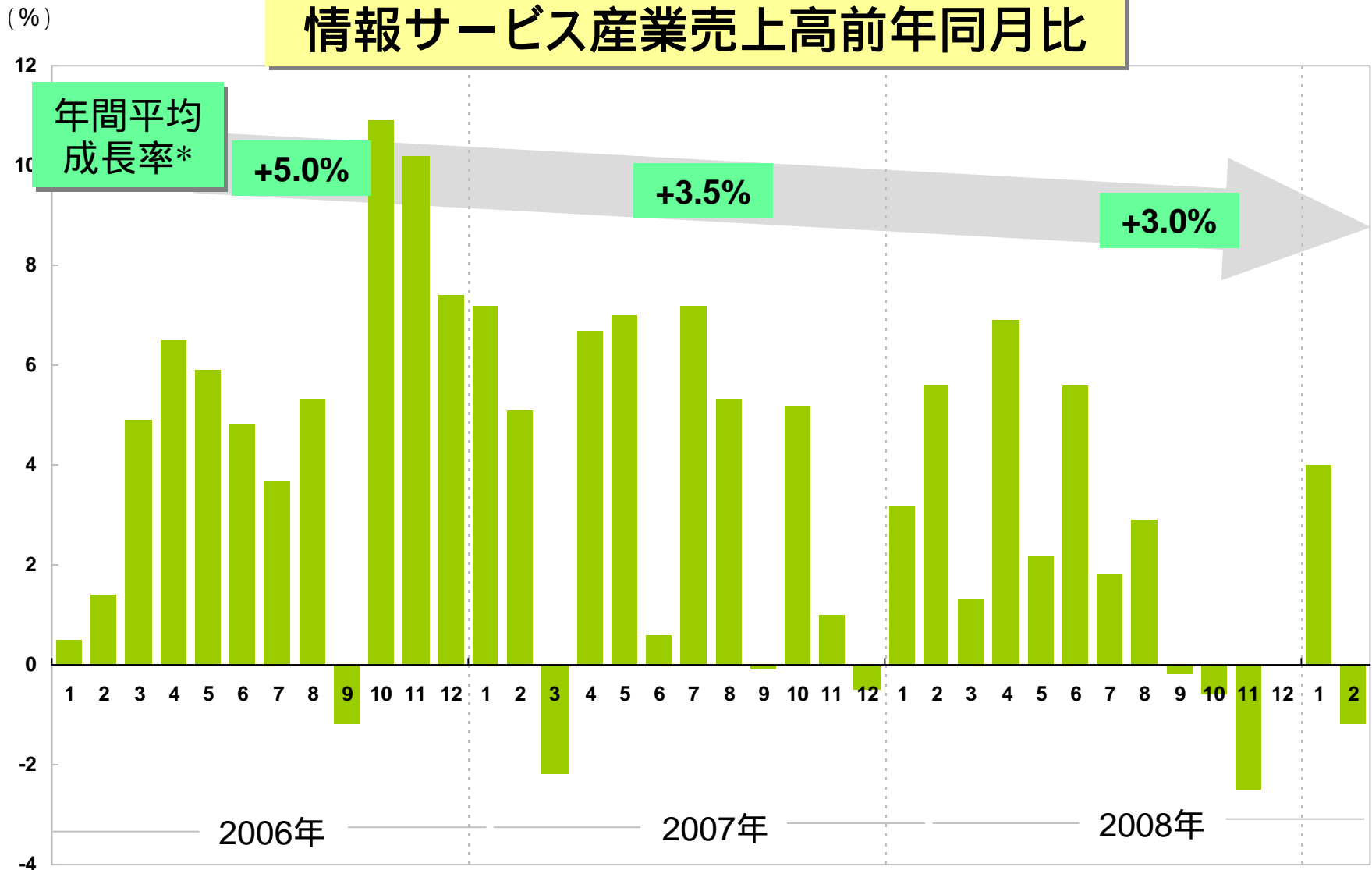
順位	大株主	持株比率 (%)
1	有限会社エイ・ケイ	8.7%
2	株式会社みずほトラストシステムズ	8.5%
3	タイヨー パール ファンド エルピー	8.1%
4	ID従業員持株会	6.6%
5	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505104	5.4%
6	みずほ信託銀行株式会社	3.5%
7	株式会社ケイ・シー・エス	3.5%
8	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2.9%
9	竹田和平	2.3%
10	船越朱美	1.6%

自己株式 (601,666株) を除く

2. 業界動向と同業他社の状況について

- ◆ 情報サービス業界の動向
- ◆ 同業他社の状況

情報サービス産業売上高前年同月比



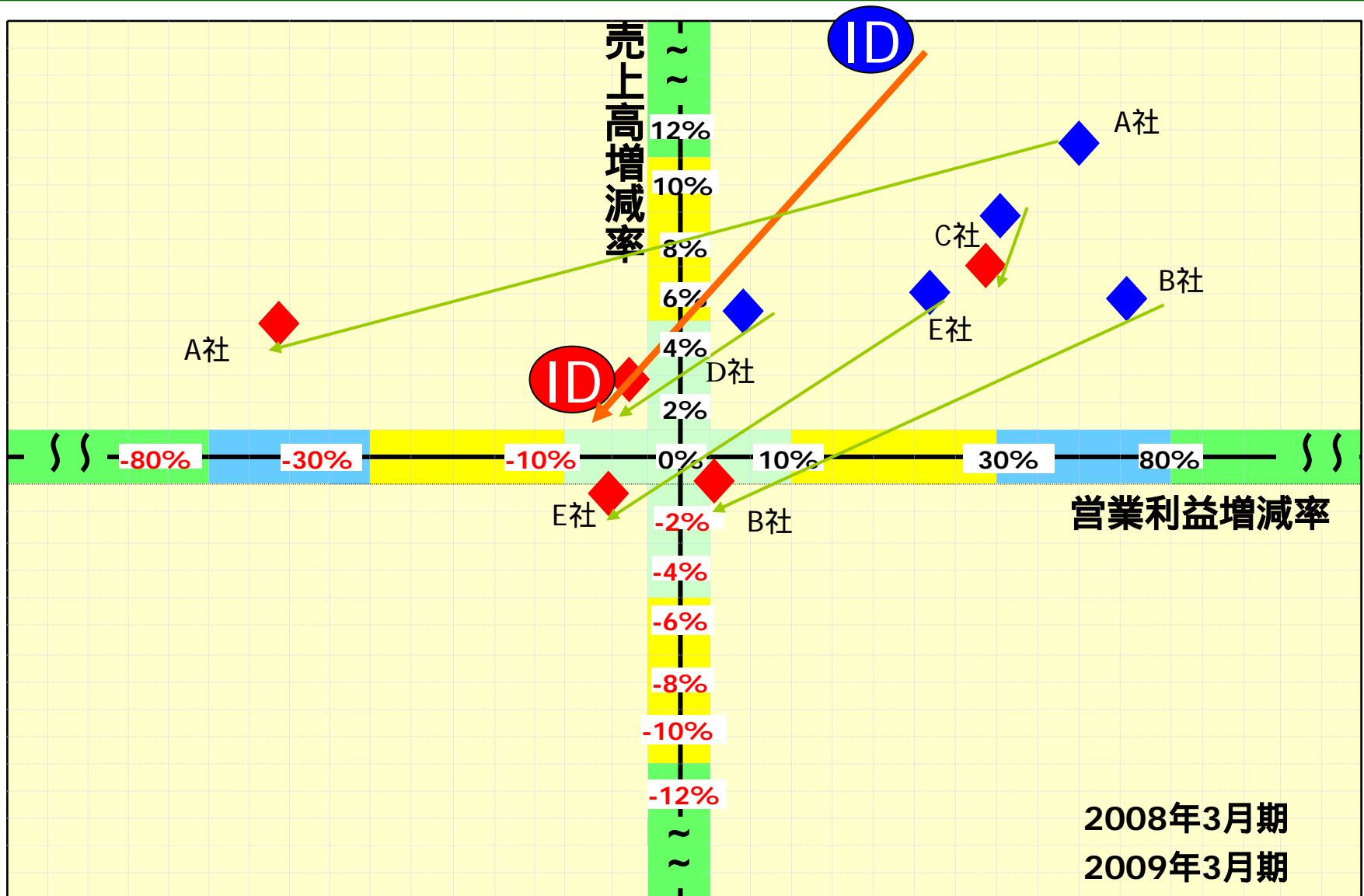
*月次成長率の単純合計値の平均

出所) 経産省特定サービス産業動態統計調査より当社作成

Change or Die!

同業他社の決算状況 (2009年3月期実績)

Change or Die!

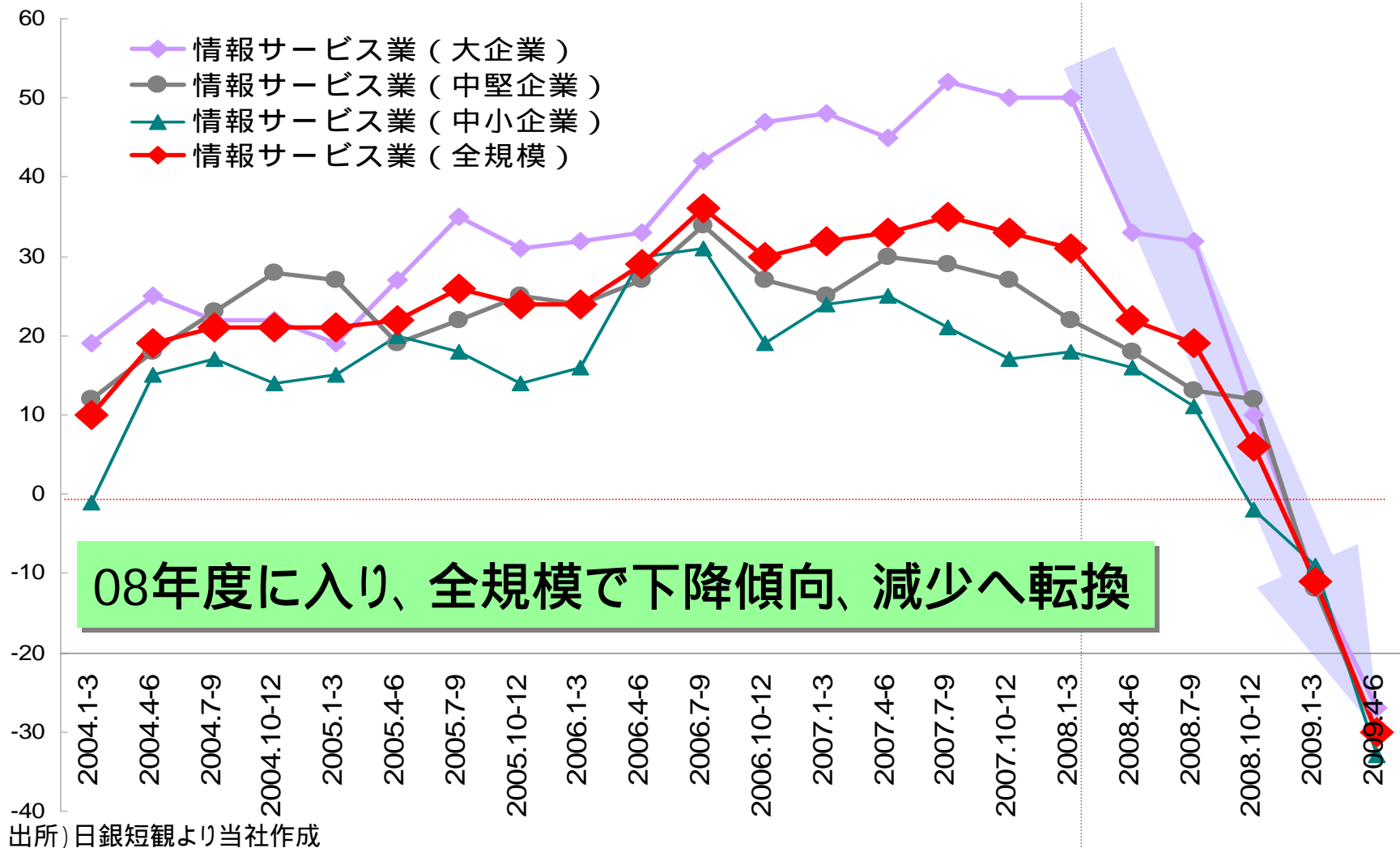


出所) 各社2009年3月期決算発表資料より当社作成

3. 通期の見通しと今後の方向性について

- ◆ 業界動向と2010年3月期の業績見通し
- ◆ 今後の方向性ー成長タクティクス & 中期経営計画
- ◆ CSR経営について

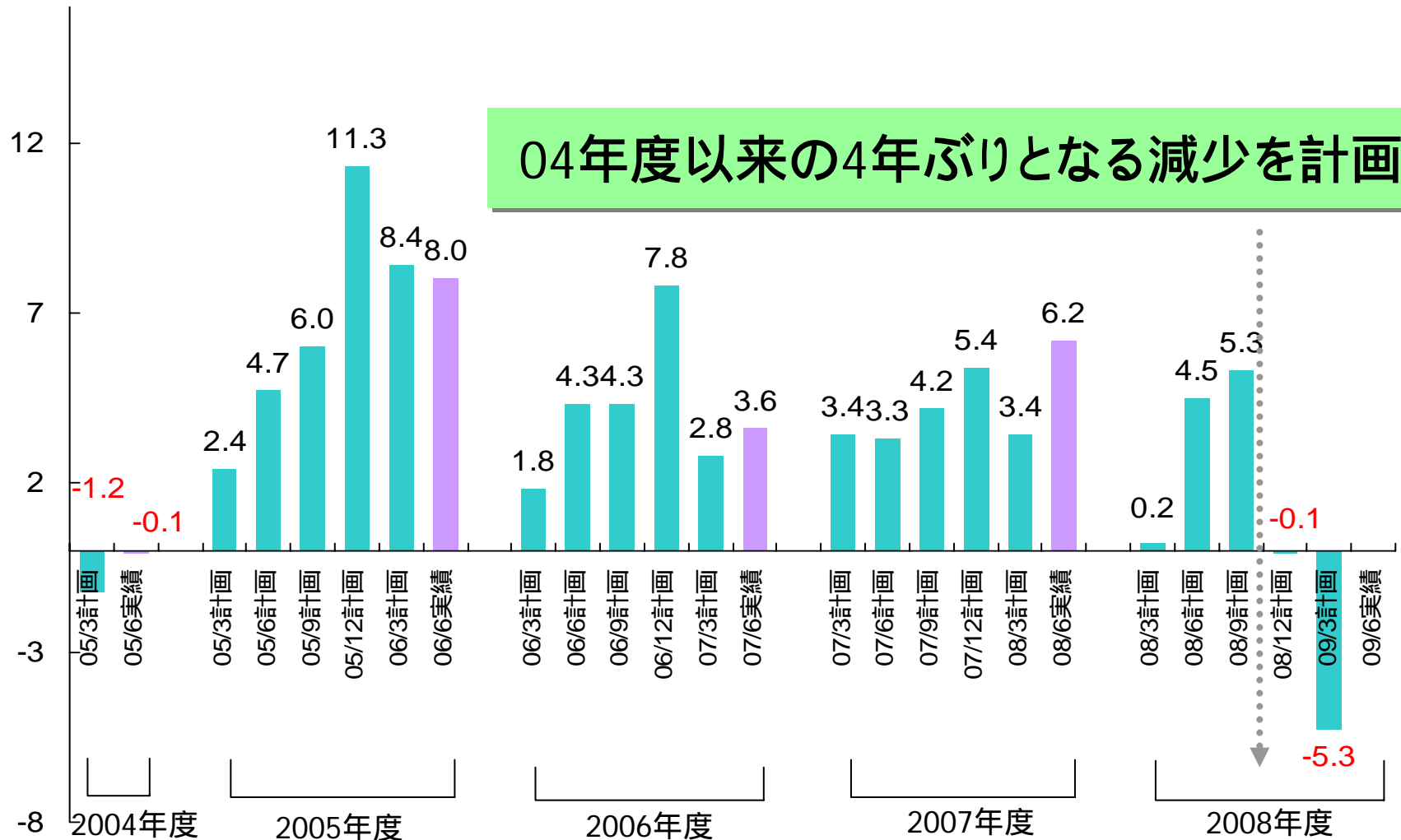
情報サービス業 業況DI値(予測)推移



(全産業 + 金融機関) ソフトウェア投資実績・計画前年比増減率

(%)

出所) 日銀短観より当社作成



Change or Die!

(百万円)	2010.3	2009.3	前期比
売上高	18,650	18,458	+1.0%
営業利益	1,130	1,057	+6.9%
経常利益	1,110	1,109	+0.1%
当期純利益	570	563	+1.2%
1株当たり当期純利益	76.74円	75.87円	+1.1%
配当金	19円	19円	
配当利回り	3.7%* ₁	3.7%* ₂	
連結配当性向	24.8%	25.0%	

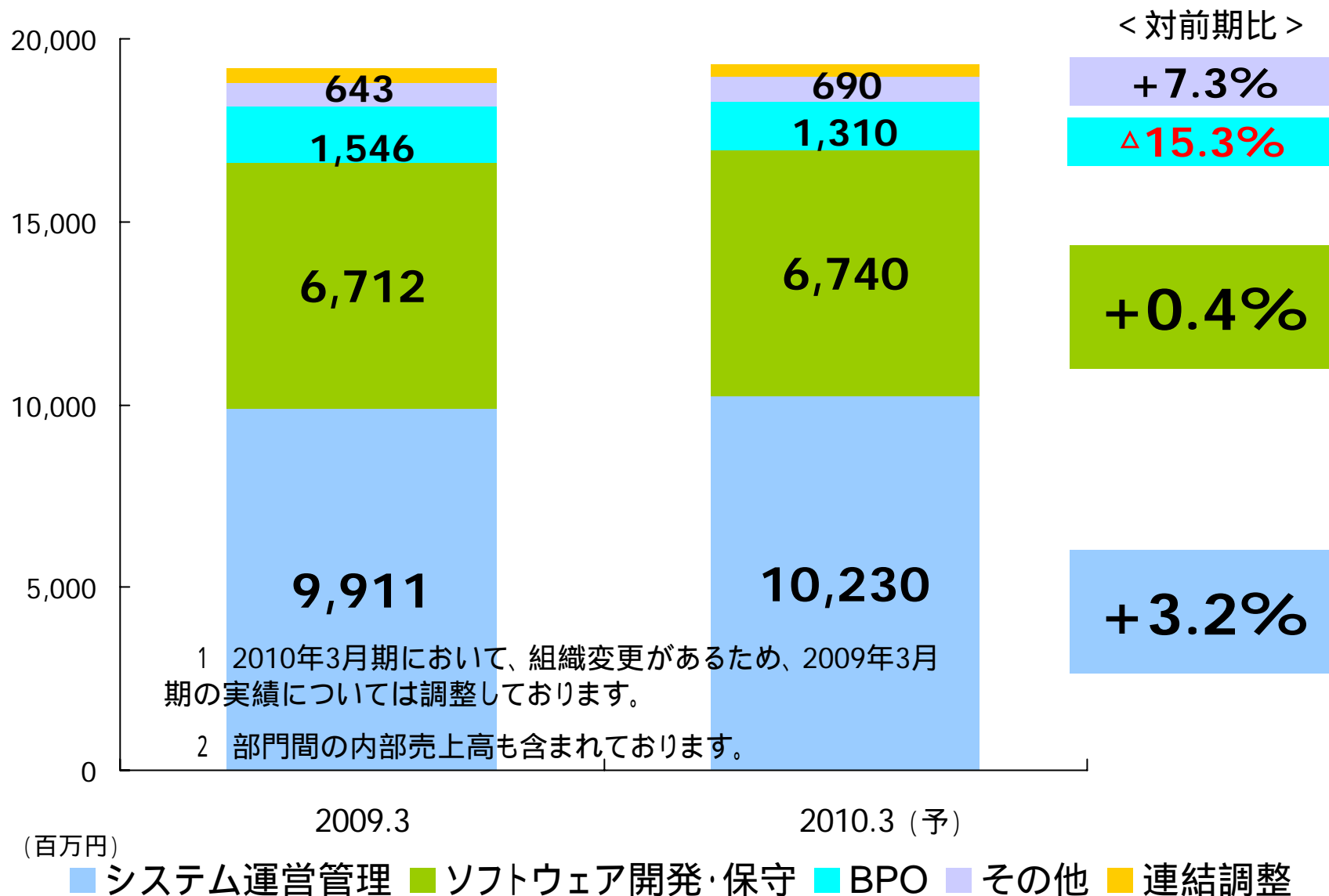
*1 期末(3月30日時点) 株価520円にて算出

*2 4月30日時点の株価516円にて算出

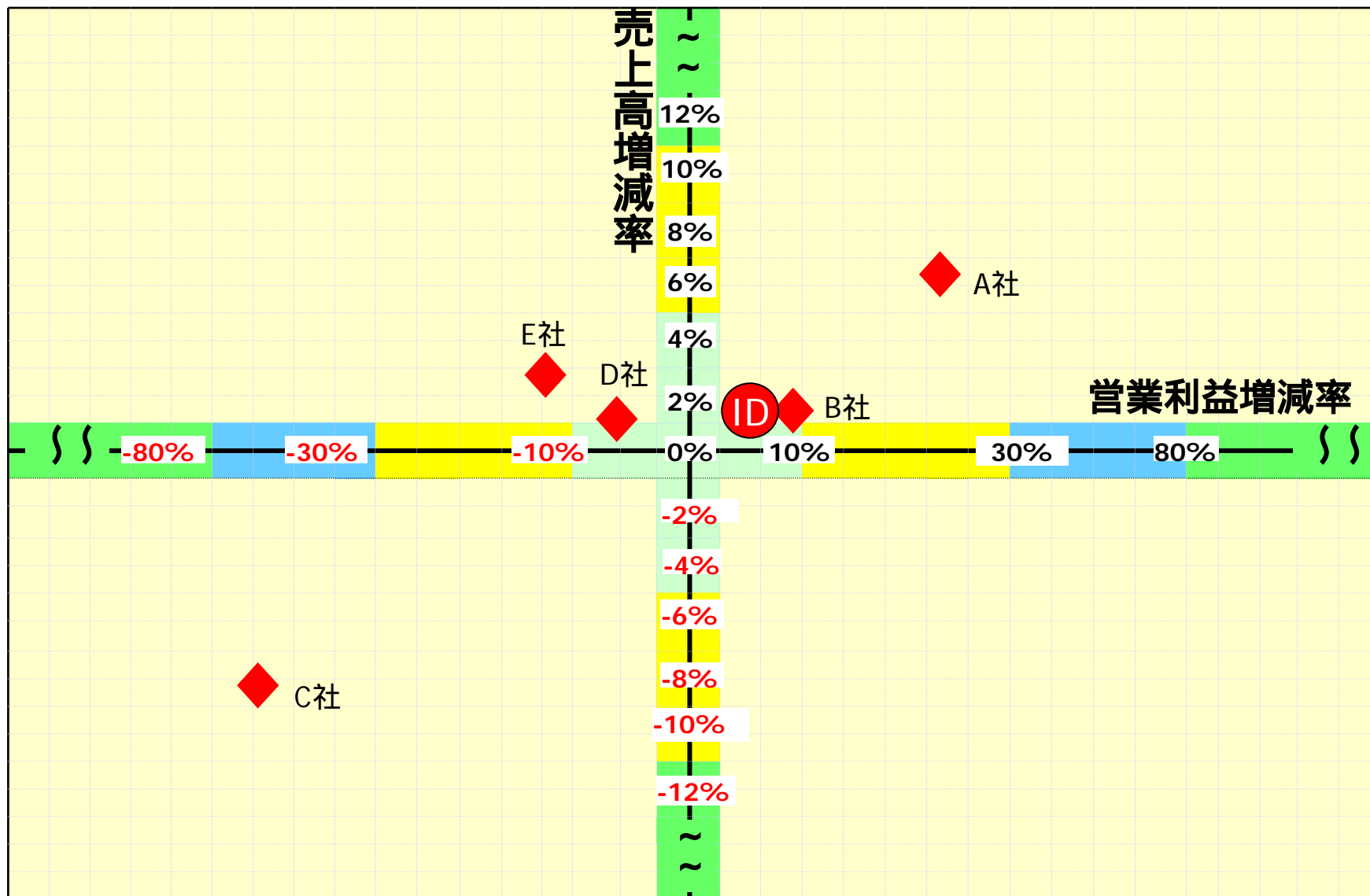
2010年3月期業績の見通し(事業別売上)



Change or Die!

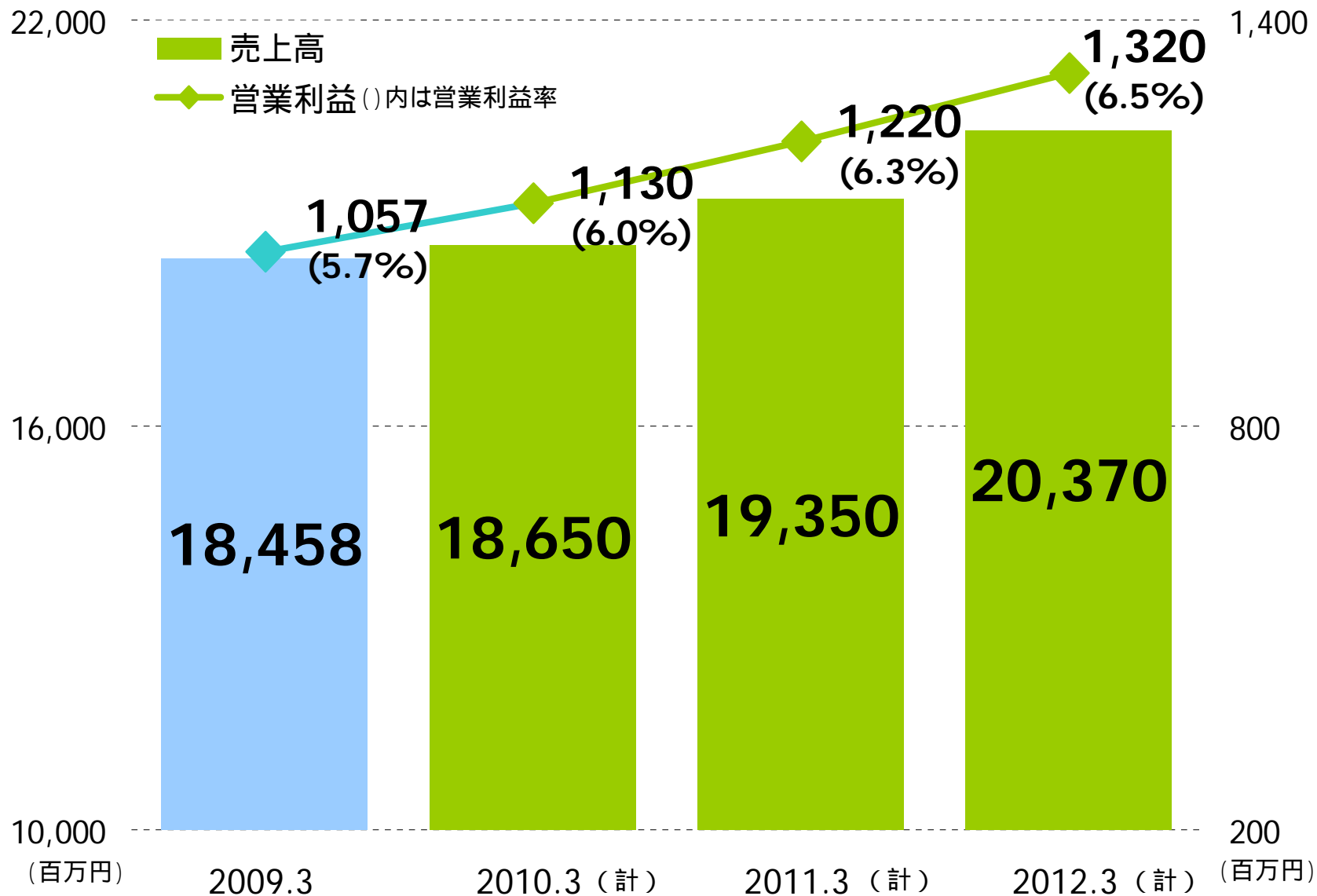


Change or Die!



出所) 各社2009年3月期決算発表資料より当社作成

中期経営計画－連結業績目標



Change or Die!

グローバル化

IT業界の再編

高度な技術進化

実績

事業の買収・提携

提携

買収

TDC
ソフト
(2006)

プライド(2002)
CS (2006)
CAT (2008)
NSK (2009)

一部営業譲渡

新サービスの提供

- ・ 先端システム運営管理技術の利用
- ・ ???

新規顧客の開拓

- ・ 重点開拓分野
- ✓ 金融・保険
- ✓ データセンター運営事業
- ✓ グローバルマーケット

高付加価値
サービスの提供

- ・ ITプラットフォーム開発
- ・ 中国オフショア活用
- ・ SaaS、クラウドコンピューティング系データセンター運営

コア事業

システム運営管理
ソフトウェア開発・保守
BPO

既存顧客の深耕

BOO戦略：1顧客複数取引

3,000億円～

現在

500億円～

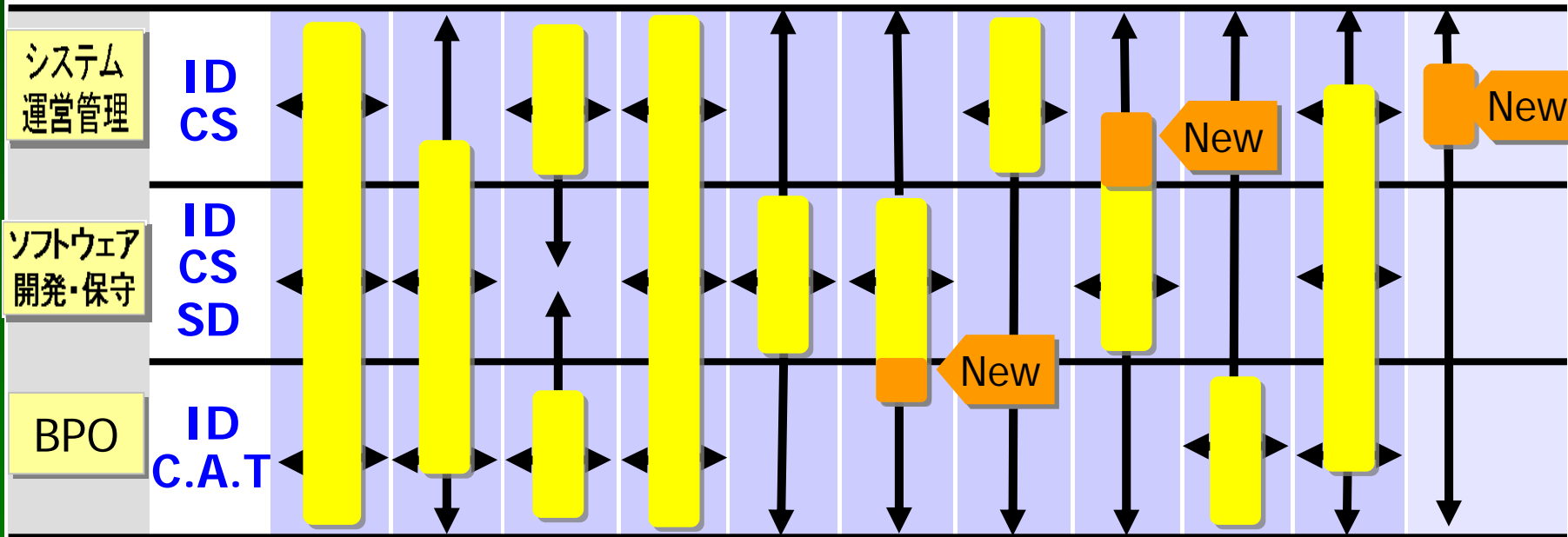
X年後

Change or Die!

グループ全体のBOO戦略*で既存顧客を深耕

*BOO戦略: ビジネス・オペレーションズ・アウトソーシングの略称で、川上から川下までの一括サービスを提供する戦略です。

既存顧客: A社 B社 C社 D社 E社 F社 G社 H社 I社 J社 ……X社



現在 (Yellow) 未来 (Blue)

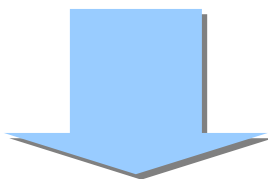
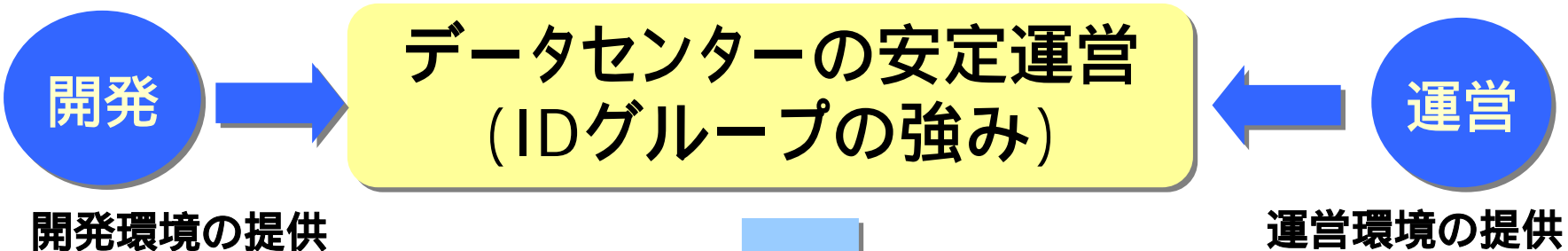


プライド(コンサルティング)
ID武漢(オフショア)

新規顧客
新規サービス C.A.T

Change or Die!

■ ITプラットフォームソリューション



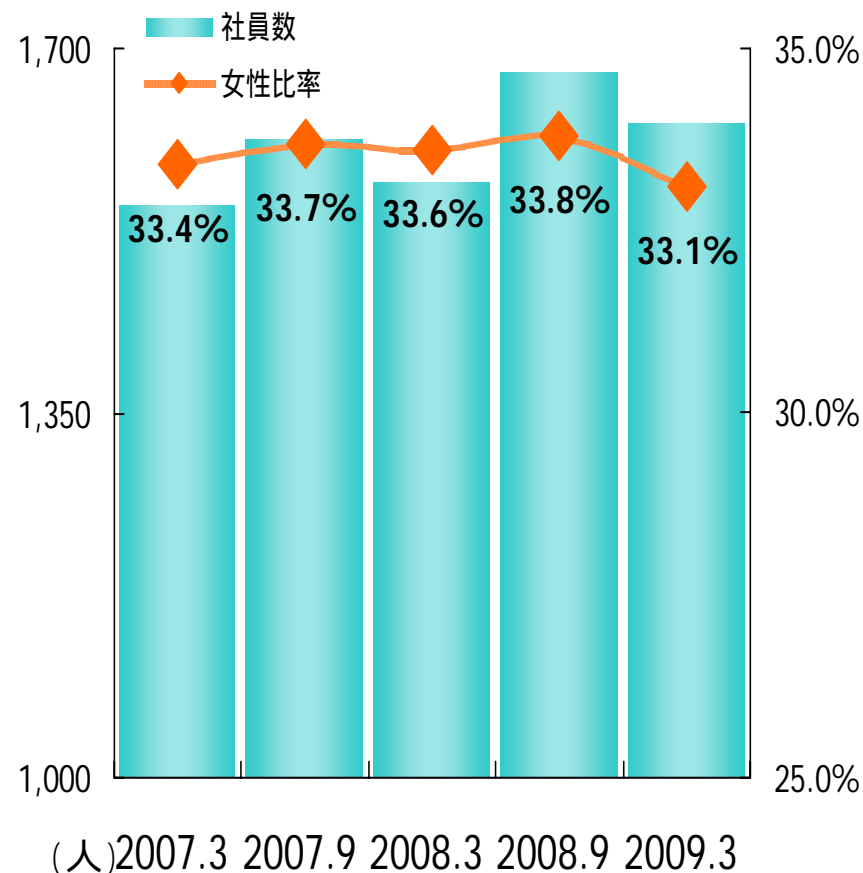
▶ SaaS、クラウドコンピューター系データセンター運営へのマーケット進出



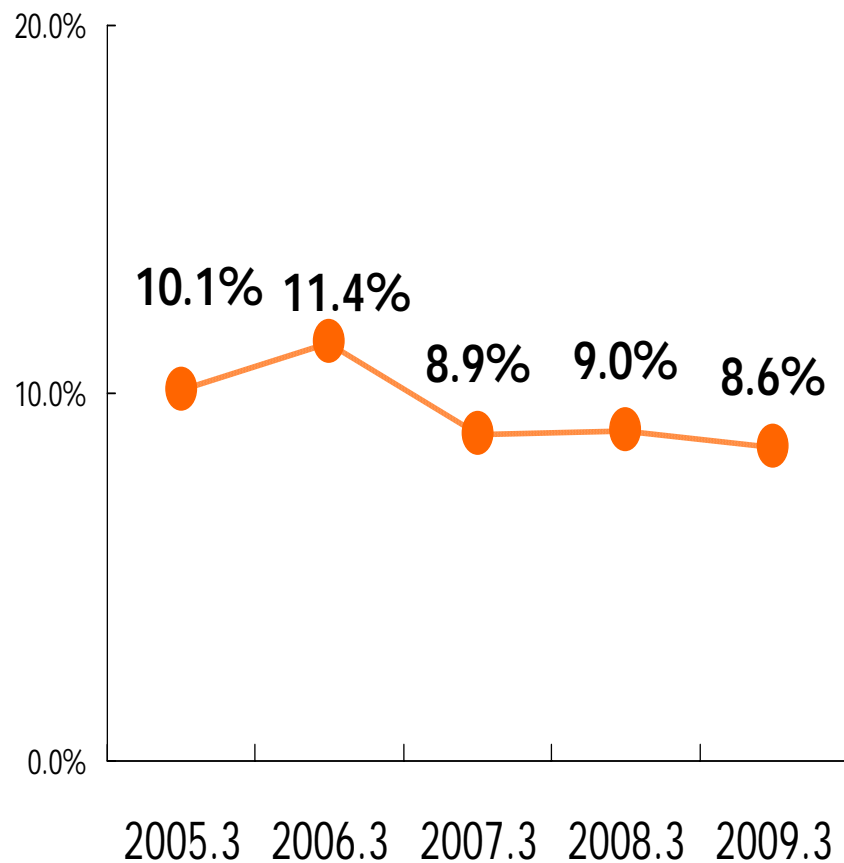
Change or Die!

女性比率を意識した人材採用と退職率改善対策の実施

(単体) 社員数と女性比率の推移



(単体) 退職率の推移



Change or Die!

私たちは、わくわくする未来創りに参加する情報サービス企業です。

法令順守の徹底

- ★ コンプライアンスハンドブックを作成し、全グループ社員に配布
 - ★ コンプライアンス勉強会をグループ全社にて実施（年2回）
 - ★ 社内外にコンプライアンス相談窓口を設置
 - ★ 社内CSRアンケートの実施（年1回）
- プライバシーマーク認証取得
 - ISO9001認証取得
 - ISMS(ISO27001)認証取得
 - ITSMS(ISO20000)認証取得

環境保護への取り組み

- ★ ISO14001認証取得
- ★ チーム・マイナス6%に参加
- ★ 地域清掃活動

支援活動

- ★ 华中科技大学ソフトウェア学部（中国・武漢）に「ID奨学金」を設立（現在在籍奨学生6名、延べ9名）

NEW!!

「湖北経済学院ID日本語講座基金」を設立

- 「J-KIDS」全国小学校ホームページ大賞に協賛
- ★ シニア向けパソコン教室開催（年2回）
- ★ 児童心理学研究者の岩宮教授の活動支援
- ★ 国連WFP協会（国連世界食糧計画を支援するNPO法人）の評議員に加入
- ★ ユニセフ（国際連合児童基金）に募金
- ★ 新内浄瑠璃の継承者、鶴賀流第11代家元鶴賀若狭掾師匠（人間国宝）の活動支援
- ★ 「東京オペラグループ」とフルートアンサンブル「Lynx」の活動支援

NEW!!

人材の国際化推進する企業として経済産業省の発行する「グッドプラクティス集」に掲載されました。

免責事項

本プレゼンテーション資料には、株式会社インフォメーション・ディベロップメントの業績予想、将来戦略、事業計画などの将来情報や経済動向、他社との競争状況などの潜在的リスクや不確実な要素が含まれています。

これらの歴史的事実以外の情報に含まれる予測及び計画は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断しています。

その為、実際の業績、事業展開または財務状況は、今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な原因により、記述されている将来予測及び計画とは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。